

利尻屋みのや たちかま料理惣吉・御宿櫻井

- 物件名：利尻屋みのや
たちかま料理惣吉・御宿櫻井（和食・宿泊）
- 住所：堺町2-12
- 電話：22-3377
- 所有者：利尻屋みのや
- 運営者：簗谷修（代表取締役）
- 主任と人員：店長 高橋雅宣、女将見習 上林愛奈、5人
- 建物履歴
平成19年 秋山愛生館跡地に小樽出世前広場
「たちかま料理惣吉」「御宿櫻井」
「小樽歴史館」「バラック長屋」

※長沼マオイ酪農会館

- 明治20年 札幌郡に
- 昭和52年 長沼町に移設
- 平成16年 台風18号で被害
- 平成17年 解体
- 平成18年 出世前広場に移築・部材再利用

※寿都の清水薬局／解体された蔵などの部材を移築



小樽出世前広場

■外観

マオイ酪農会館や清水薬局の部材を再利用し、小樽出世前広場「たちかま料理惣吉」「御宿櫻井」「小樽歴史館」「バラック長屋」を大正時代風に建築配置。

■内観

「たちかま料理惣吉」では、明治の頃まではどこの家庭にもあった「かまど」「おくどさん」「へっつい」等と呼ばれた台所の煮炊装置を設置。奈良県大宇陀市より文化財修復を手がける職人が造作。

「御宿櫻井」では、明治の間、大正の間、昭和の間、不老長寿の間を設置し、時代ごとの部屋の雰囲気演出。

■内容

- ①ネーミング／背後の高台に海運王といわれた板谷宮吉邸があり、出世が丘と呼ばれ、そこに登る坂道を出世坂で出世前広場に。広場の通路では竹馬、縄跳び、フラフープ、けんけんなどの遊び場。「使い捨ての言葉がなかった時代」をコンセプトに、小樽再生の発信基地をめざす。「街並みは産業、街並みは文化」をモットーに人材教育。
- ②たちかま／小樽の隠れた珍味として、地元小樽の古老が愛するたちかま料理を再現すると同時に、自慢の昆布料理やシシカバブーなどの珍味を提供。社長の古里である利尻島で生産。

■客層

80%が地元客、簗谷社長が招集する地元名士の放談会の会場としても利用。



マオイ酪農会館解体工事



旧清水薬局.部材



清水薬局棟札

利尻屋みのや たちかま料理惣吉・御宿櫻井



惣吉外観



癒やされる店内



時間の止まる空間



おくどさん



たかましい自然木の梁



高橋雅宣氏



小樽歴史館



櫻井外観



昭和の間



大正の間



明治の間



重厚な廊下と扉



マオイの重厚な梁